

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】

〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-533-3992 FAX.042-533-3993

Rotary

第2580地区



よいことの
ために
手を取りあおう

東京秋川ロータリークラブ

2025-26年度 29号

2026年6月11日

第2446回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	41	27	14	0	65.9%

本日のテーマ

卓 話 立川国際カントリー倶楽部
支配人 伊藤 英博 様

次回以降のプログラム

6月13日(日)～17日(水) 国際大会(台湾)

6月25日(木) 「最終」夜間例会

7月 2日(木) 初例会「会長所信表明」

第2445回の出席率訂正 会員41名 出席28名 メークアップ9名 欠席4名 免除0名 訂正出席率 90.2%

会長方針

皆の力で魅力的なクラブへ！

本日のお客様

- ・立川国際カントリー倶楽部 支配人 伊藤 英博 様
- ・ 営業課兼総務課 主任 藤原 優樹 様
- ・東京青梅ロータリークラブ会長 柳内 忠知 様
- ・東京青梅ロータリークラブ幹事 竹内 美好 様
- ・東京福生ロータリークラブ会長 加羽澤 光輝 様
- ・東京福生ロータリークラブ幹事 富澤 浩史 様
- ・地区ロータリー希望の風副委員長 埴村 貴志 様 東京福生ロータリークラブ

来訪クラブご挨拶

東京青梅ロータリークラブならびに東京福生ロータリークラブより、本年度の御礼と多摩グループ合同例会 I・M開催への感謝の言葉をいただいた。秋川ロータリークラブの結束力や地域奉仕活動への高い評価が述べられ、次年度も近隣クラブとして協力していくことを確認した。



柳内 忠知 様



竹内 美好 様



加羽澤 光輝 様



富澤 浩史 様

地区報告

埴村副委員長より「希望の風コンサート」の案内が行われた。
東日本大震災遺児への奨学金支援事業として継続されている活動であり、
7月11日(土)の開催に向けて協力依頼があった。



埴村 貴志 様

会長報告 山下 克己 会長

- ・秋川消防少年団デイキャンプ
(7月25日(土)開催)の案内
- ・フィリピン・ダバオ地区地震被害への支援金の協力依頼



幹事報告 高橋 和宏 幹事

- ・2026-27年度ライラセミナー受講生募集案内
- ・秋川消防少年団事業報告書の回覧
- ・小林事務局台湾大会参加支援募金達成報告
- ・本年度最後の通常例会開催について



会員報告

- ・中村一広君より、市議会議員4期目への挑戦にあたり支援のお願いがあった。

委員会報告

- ・親睦委員会
6月25日(木) 18:00より東秋留駅「潮」にて最終夜間例会を開催予定。



中村 一広 君



今田 一範 君

— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **76,000円**

- ・中川 雅雄 ガバナー お世話になりました。
- ・東京青梅RC 柳内 忠知 様・竹内 美好 様 一年間お世話になりました。来年もよろしくお願いします。
- ・東京福生RC 加羽澤 光輝 様・富澤 浩史 様 大変お世話になりました。
- ・山下 克己 君 青梅RC会長、幹事様、福生RC会長、幹事様、埴村様、立川国際CC支配人伊藤様、営業総務課主任藤原様ようこそおいで下さいました。
- ・高橋 和宏 君 青梅会長幹事、福生会長幹事、本日はようこそ秋川RCに。一年間お世話になりました。立川国際伊藤支配人、藤原主任、今日は忙しい中引き受けていただきありがとうございます。宜しく願い致します。
- ・平宮 力夫 君 お客様本日はようこそおいで下さいました、ありがとうございます。本人誕生日をいただいて。
- ・植松 一良 君 参加できず申し訳ありません。
- ・山田 宗孝 君 早退いたします。
- ・乙戸 康博 君 早退いたします。
- ・秦 英準 君 早退いたします。

— 卓 話 — 立川国際カントリークラブ 支配人 伊藤 英博 様

「立川国際カントリークラブの歩みと地域とのつながり」

伊藤支配人より、立川国際カントリークラブの歴史と地域との関わりについてご講演いただいた。

同クラブは国連友の会による緑化事業を起源とし、昭和34年に開場。その後36ホールへ拡張され、現在の草花コース・奥多摩コースへ発展した。

日本全国には約2,200のゴルフ場があり、関東には約550コースが存在する。

近年はコロナ禍を契機としてゴルフ人口が増加し、首都圏では来場者数も増加傾向にあることが紹介された。

また、立川国際カントリークラブは地域密着型の運営を重視し、地元高校からの採用、地域住民の雇用、防災協定、ふるさと納税返礼品への協力など、あきる野市との連携を積極的に進めていることが説明された。

質疑応答では、ゴルフ人口減少への対応やキャディ不足への取り組み、将来のクラブ運営について意見交換が行われた。伊藤支配人からは「地域に愛されるゴルフ場として100年続くクラブを目指したい」との抱負が語られた。



◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央